



大建工業、WPC床材「エコスシリーズ」に新ラインアップ「エコス ピュアシルク」新発売



大建工業は、傷がつきにくく、水濡れにも強い WPC 床材「エコスシリーズ」に、肌触りのよい素材を活かした意匠の「エコス ピュアシルク」を新たにラインアップして、2015年5月21日より全国で発売を開始します。これまで床材には、傷や汚れに強いといった機能を求めるお客様が多く、当社独自の加工技術である WPC 加工を表面材に施した床材「エコスシリーズ」は、特に耐久性が高く評価され、ご好評いただいております。さらに最近では耐久性に加えて、デザインや色柄といった意匠面、中でも手触り感の良さを求める傾向があります。そこで当社はこれらのニーズにお応えするため、傷や水に強いといった WPC 床材「エコスシリーズ」ならではの機能はそのままに、肌触りのよい素材を活かした意匠の「エコス ピュアシルク」を発売。ラインアップの充実によりさらなる提案力の強化を図ります。「エコス ピュアシルク」は、高級感のある 2P、定番で落ち着きのある 3P に、特に女性の方々からの要望が多いお手入れのしやすさを追求した「溝なし」の 5P を新たに加え、多彩な表面材パターンを用意しています。

情報提供: 大建工業

タミ一畳の設置スペースで、狭小住宅の押入れリフォームにおすすめ「ホームエレベーター」発売



パナソニック ホームエレベーター株式会社は、狭小住宅の押入れを利用したリフォームにおすすめの、タミ一畳のスペースで設置可能なホームエレベーター「1608 ショイモタン S200V」を2015年6月2日より発売します。製品は2階建て専用の2人乗り(積載量 150kg)タイプで、省スペース・省施工・省エネを実現。高齢化が進む中、拡大する住宅リフォーム市場において、既存住宅へのエレベーター設置の需要が増加しています。しかし、でリフォームのホームエレベーター設置には、住宅基礎の大幅改修が伴い、工期・費用などが課題となっています。そこで当社は、既発売の機器類を小型化・薄型化し、建築工事の省施工を実現したピット寸法(最下階床下寸法)200mmの技術を応用展開。さらに油圧機器をスリム化、機器レイアウトを改良して、当社従来品比で3日間の工期短縮やコスト軽減を実現しました。

情報提供: パナソニック ホームエレベーター

YKKAP、最新トレンドを取り入れた新デザインドアを追加、新フローリングを刷新

ミックスナチュラル		ウッドナチュラル		フレンチナチュラル	
風合いのある木調とビンテージ家具・雑貨などの個性的なアイテムをミックスした落ち着いた雰囲気のあるインテリア。	木調色を多く使い、木の穏やかな表情と豊かな色合いを活かしたインテリア。	ホワイトの木調色をベースに素朴な木の表情を活かし、洋風な要素を取り込んだ上品で華やかなインテリア。			
ドア	フローリング	ドア	フローリング	ドア	フローリング
ブラックラインをアクセントにあしらったモダンなデザイン	ビンテージオーク色。時を経たグレイッシュな色味がモダンな趣きのオーク柄	ナチュラル感を演出する幅の広い板張り調デザイン	ナチュラル色。赤と黄味の色変化と穏やかな濃淡が特長のチェリー柄	整ったバランスによる端正でシブいな格調デザイン	チャートオーク色。木目を白く上げる加工が素材で穏やかな表情

YKK APは、木質インテリア建材[ラフォレスト]シリーズにて、“ミックスナチュラル”、“ウッドナチュラル”、“フレンチナチュラル”の3つのスタイルのインテリア空間を新たに提案します。これら3つのスタイルにマッチする室内ドア・引戸などの新デザインを6月1日に発売するとともに、フローリング・階段もリニューアルし、各アイテムを組み合わせたインテリアコーディネートを展開します。室内ドア・引戸はブラックラインをあしらったモダンなデザインやナチュラル感を演出する板張り調デザイン、またウェーブ形状のエlegantなハンドルを追加で発売します。フローリングはカラーを刷新し、カフェやショップのイメージを住宅にあわせてアレンジしたこだわりの色柄や、銘木の持つしなやかさや艶を最新の技術でリアルに再現した色柄にリニューアルします。

情報提供: YKKAP

平成 27 年 4 月の住宅着工の動向について

平成 27 年 4 月の住宅着工数は 75,617 戸で、前年同月比で 0.4% 増となった。また、季節調整済年率換算値では 91.3 万戸(前年比 0.7% 減)となった。利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で分譲住宅が増、持家、貸家が減となった。季節調整値では、前月比で分譲住宅が増、持家、貸家が減となった。住宅着工の動向については、昨年 4 月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、このところ前年同月比で減少が続いていたが、足下では前年同月比で 2 ヶ月連続の増加となっている。住宅着工は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れており、緩やかに持ち直しているとみている。住宅着工については、今般の経済対策等を踏まえ、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。持家は前年同月比では 15 ヶ月連続の減少、貸家は前年同月比では 2 ヶ月ぶりの減少、分譲住宅は前年同月比では 2 ヶ月ぶりの増加、分譲マンションは前年同月比では 2 ヶ月ぶりの増加、分譲一戸建て住宅は前年同月比では 12 ヶ月連続の減少である。府県別では大阪 4491 戸(前年同月比 34.0% ↓)、兵庫県 2364 戸(13.1% ↓)、岡山 1140 戸(60.6% ↑)、広島 1422 戸(5.1% ↓)である。

情報提供: 国土交通省